



六ツ星

六ツ星

総行

ほとんどの文明世界が
水没した遠い未来の話、
日本の横浜に残った
小さな島で
この物語は始まる。



アルファという
女の子が、
古い物置で
意味ありげな
箱を見つけた。



ほこりだらけだわ。
ずいぶん前から
ここにあったのね。

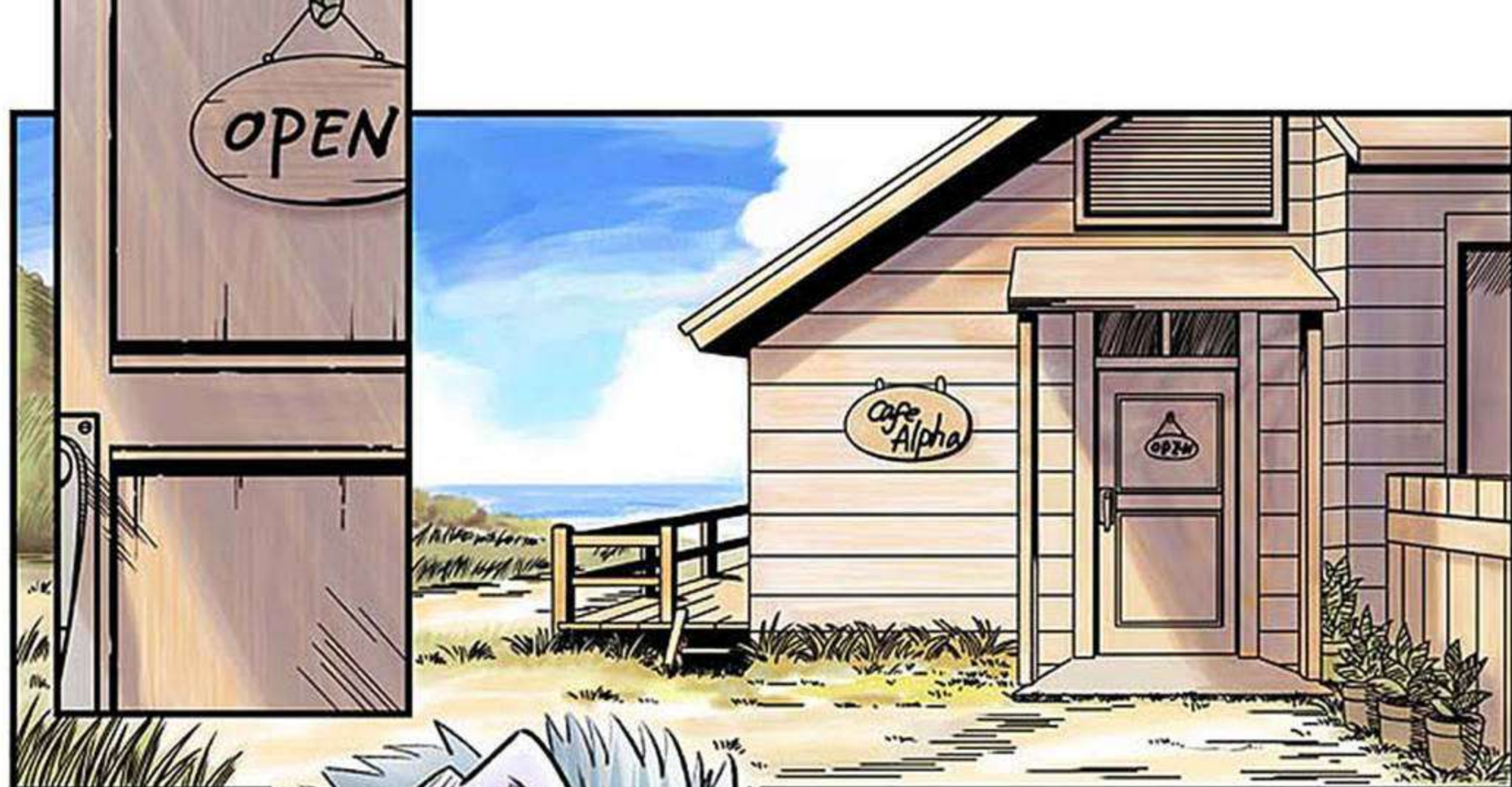


箱を開けてみると
3個の電池が
入っていたが、
それ以外が何なのか、
彼女には
見当もつかなかった。



これは
なににするもの？





アルファは
おるかの？

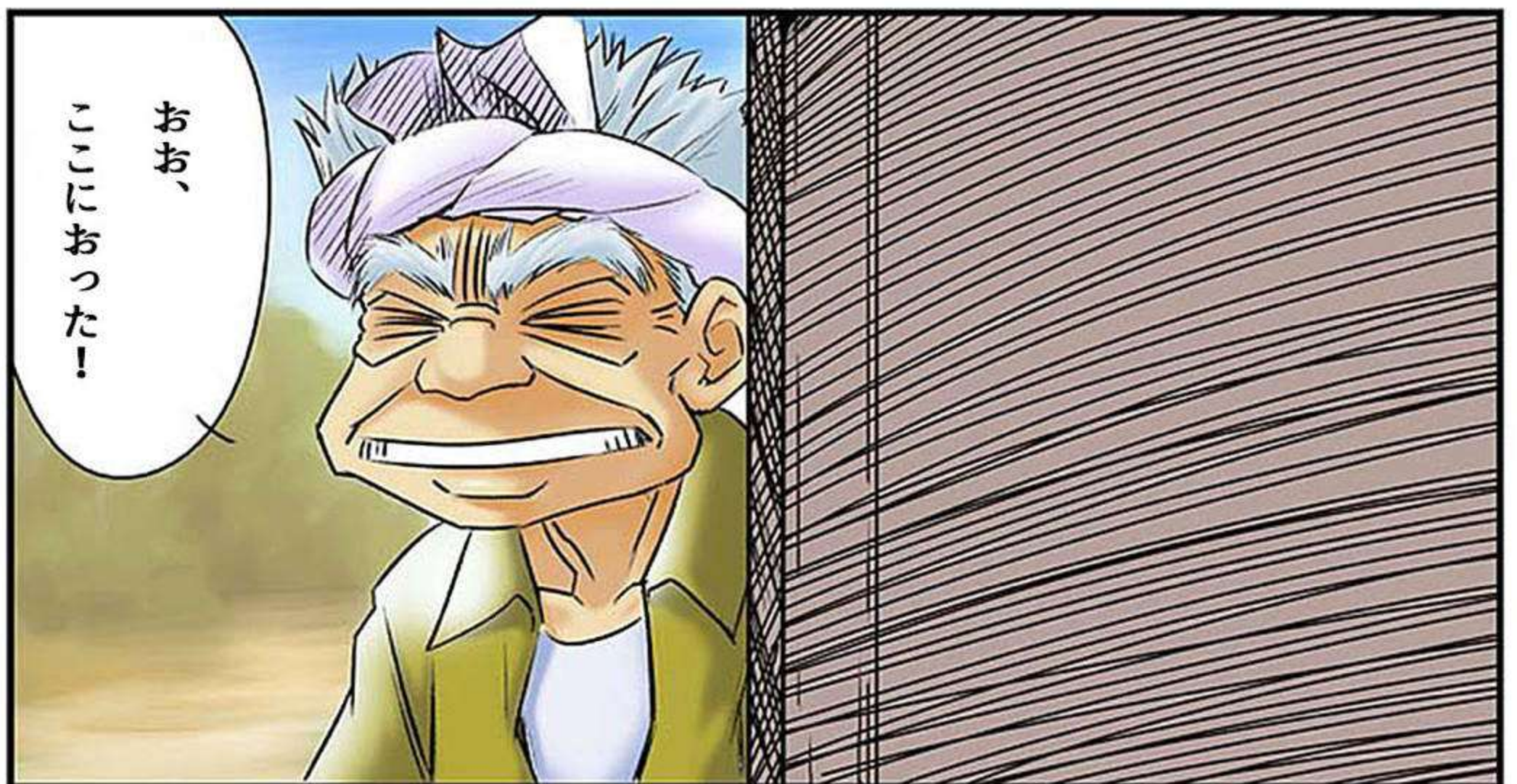
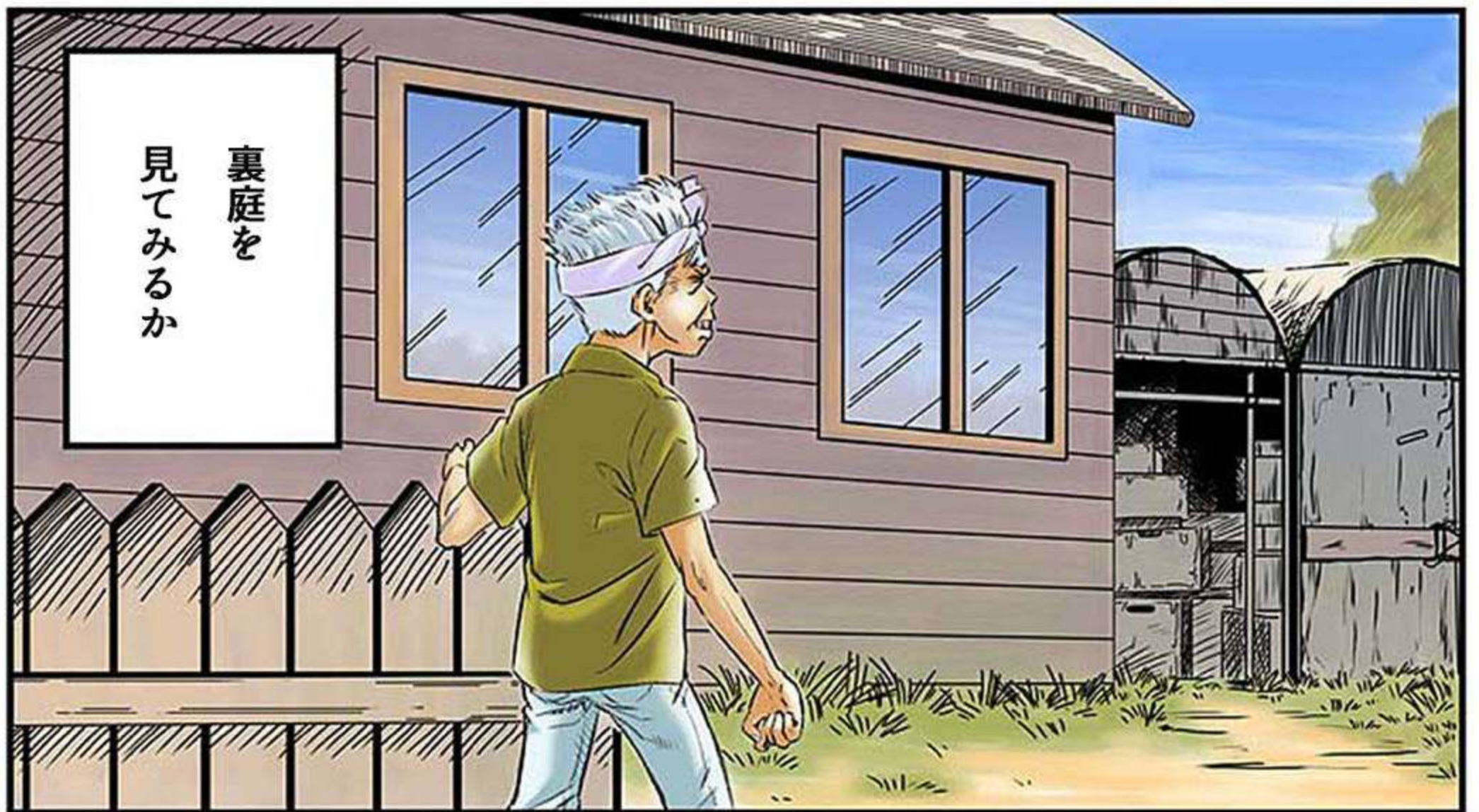


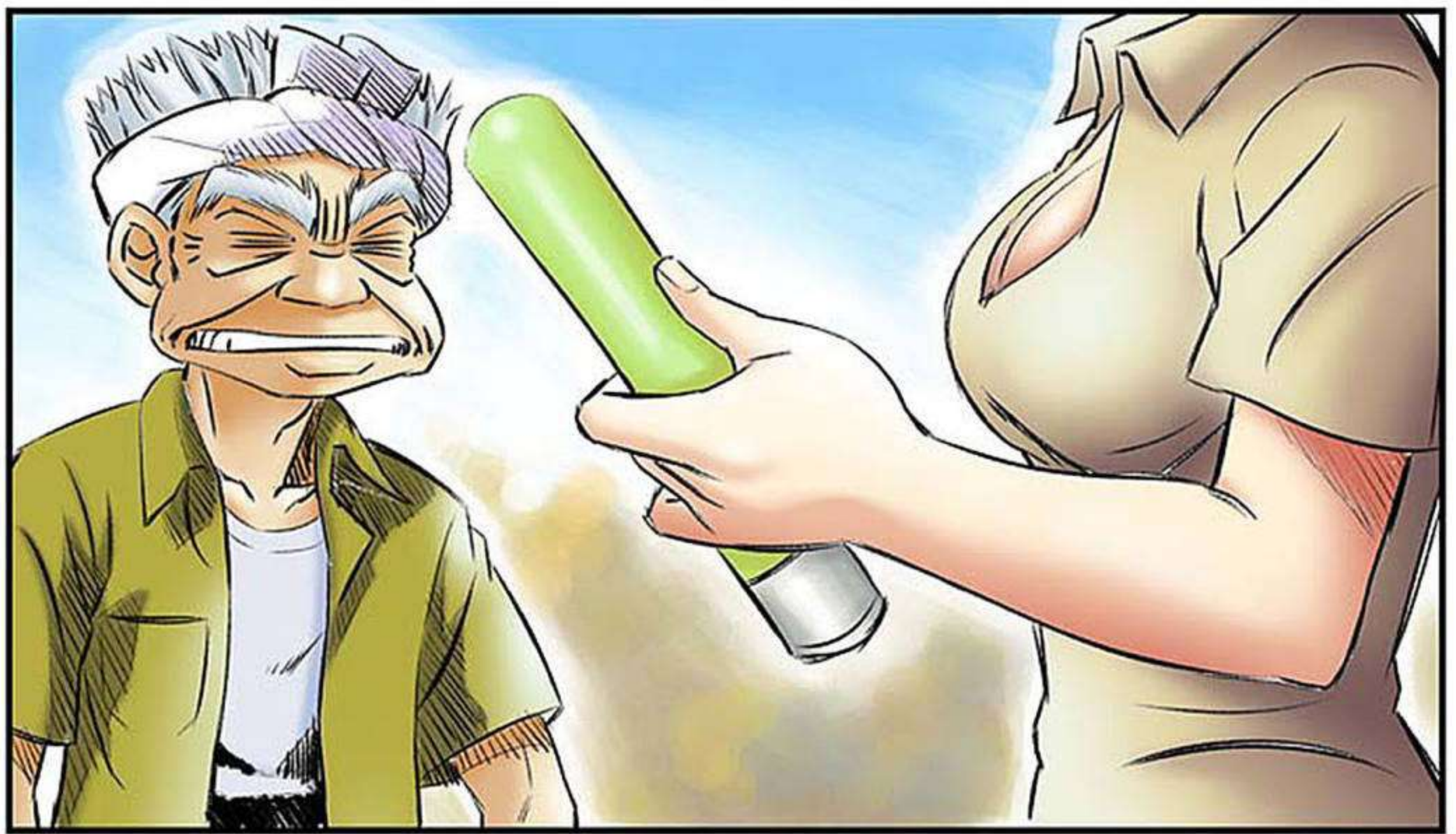
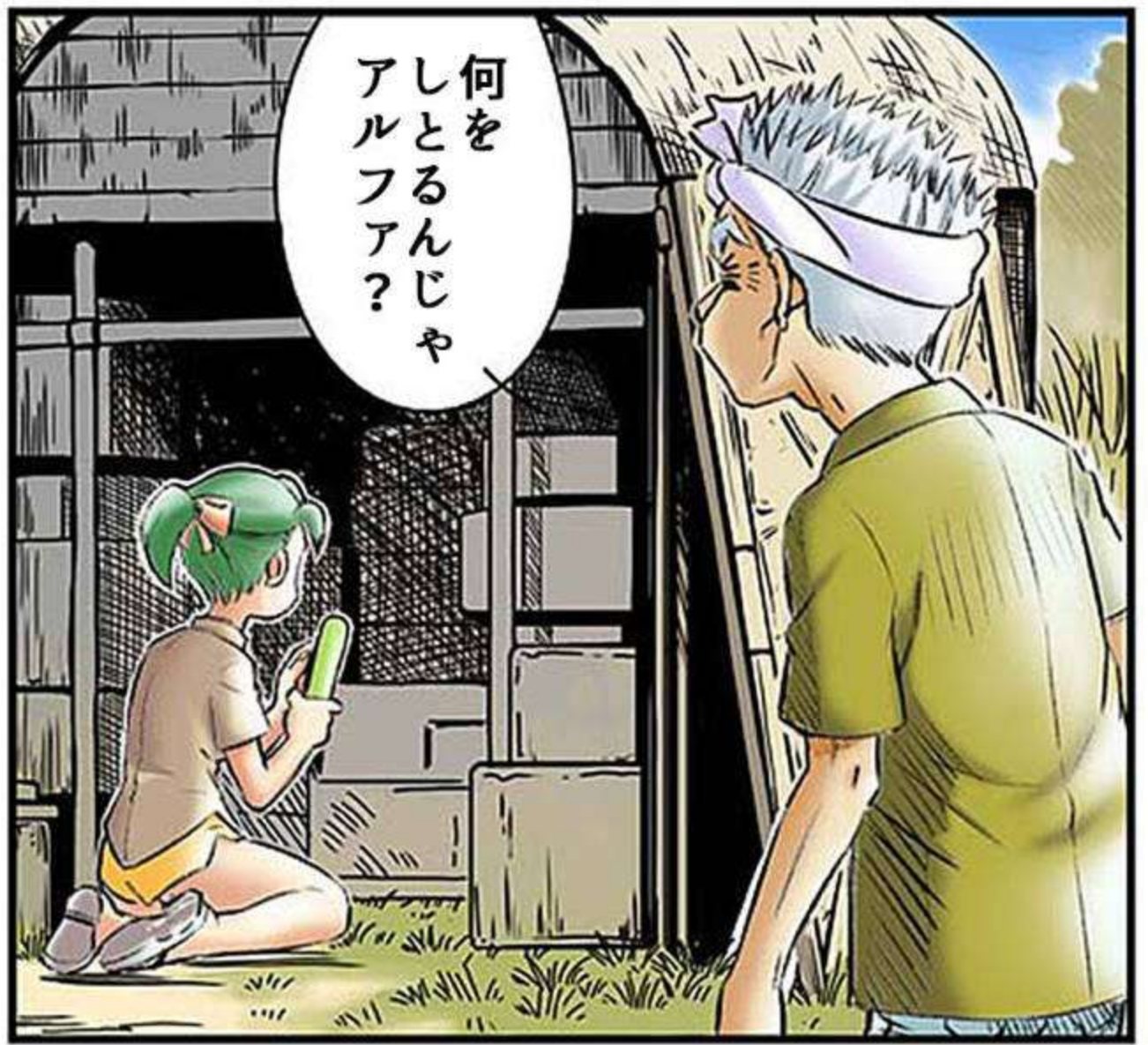
どこに
行ったんじゃ？

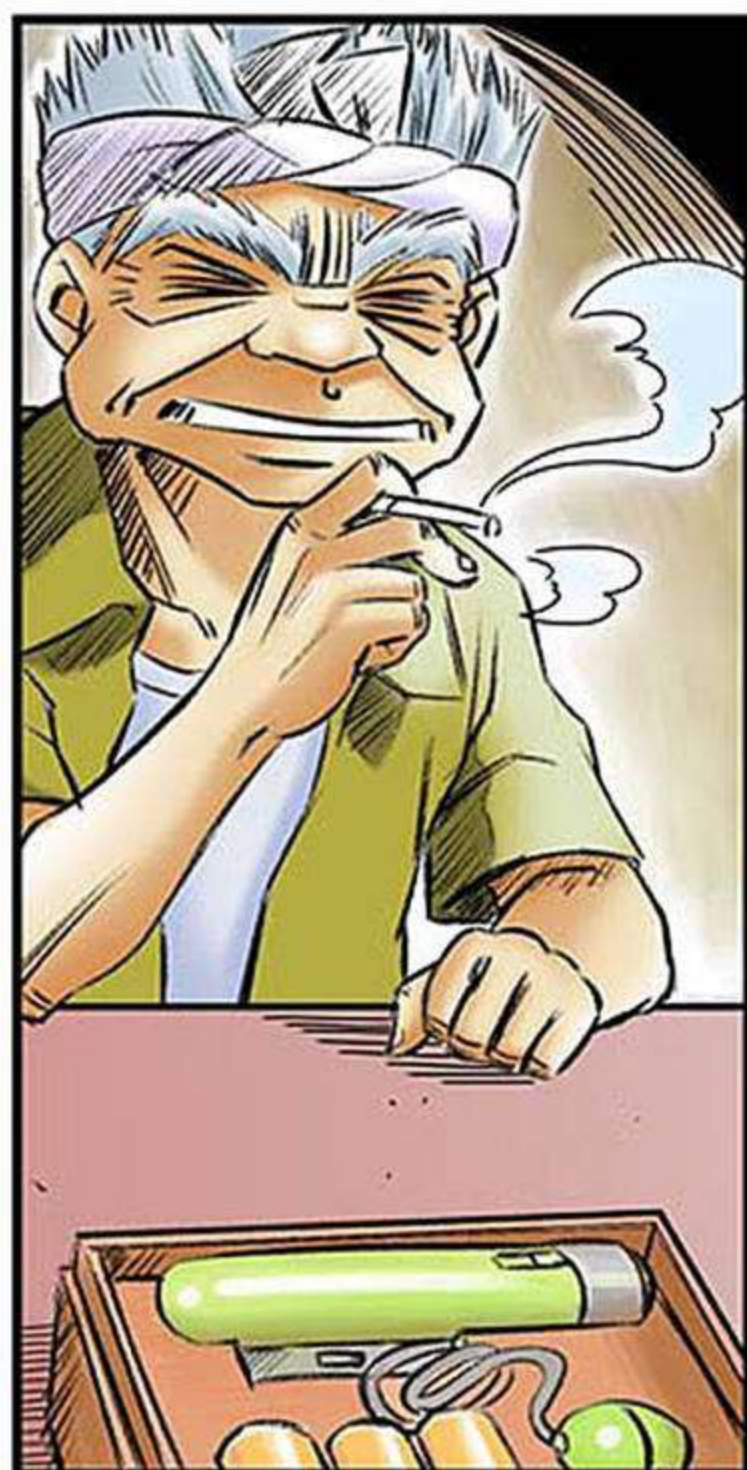


アルファ？





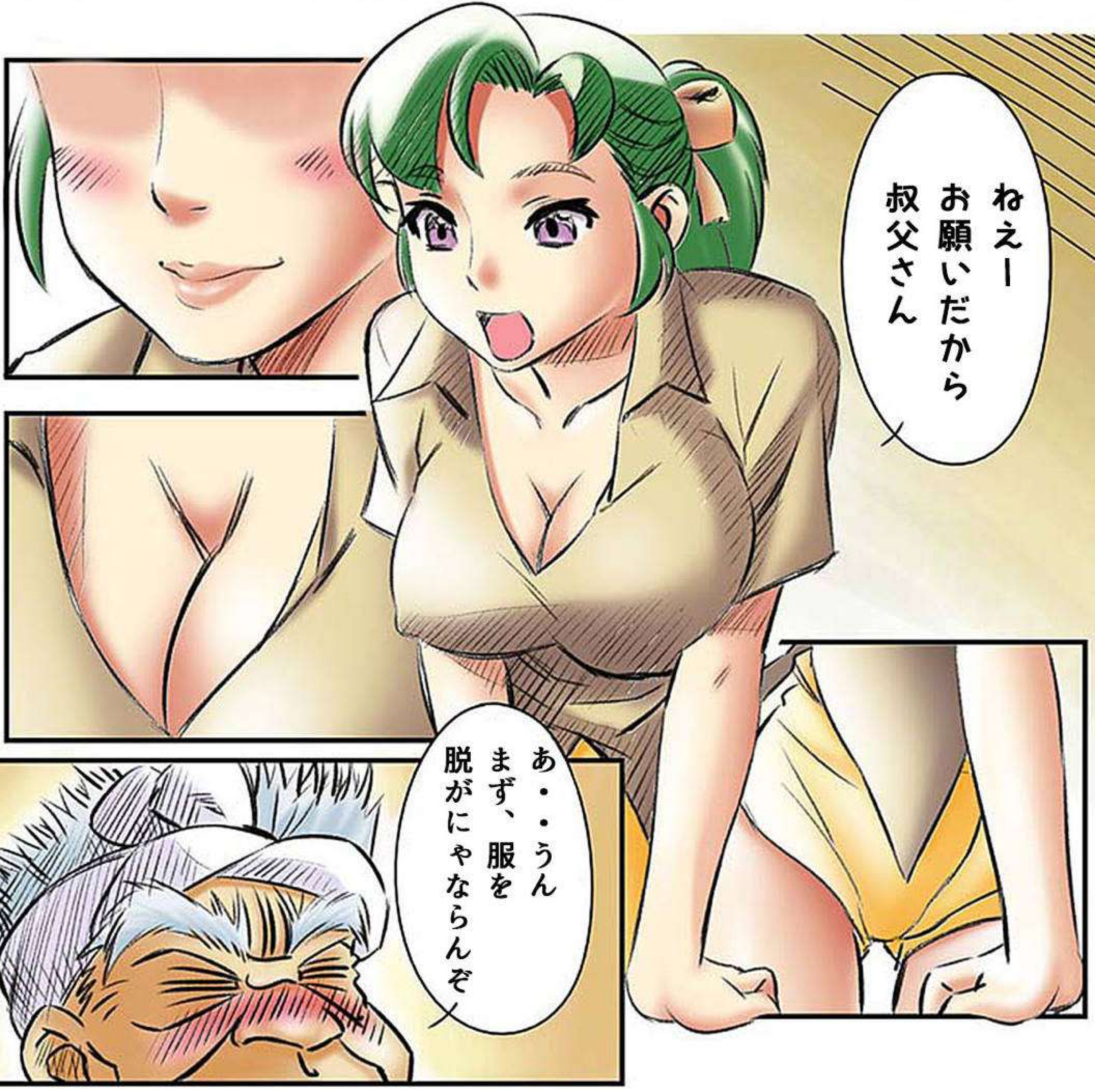






お願
いあ
、私に
使っ
て見
せて
！

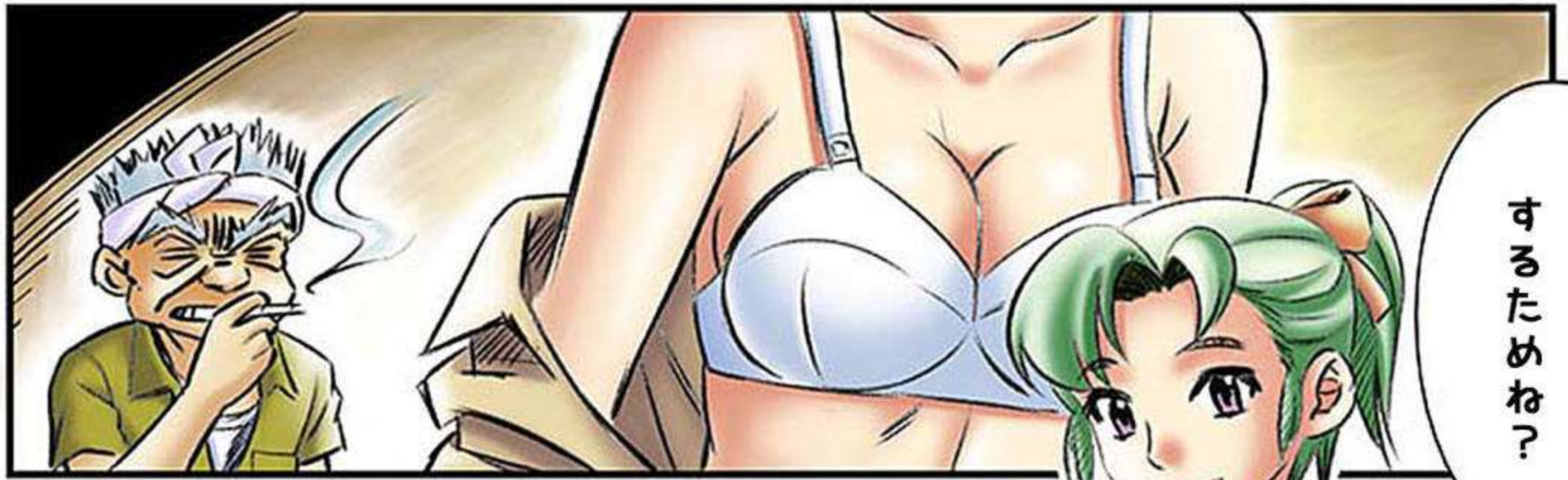
いや、これは
女性
が使
うも
んじ
ゃ



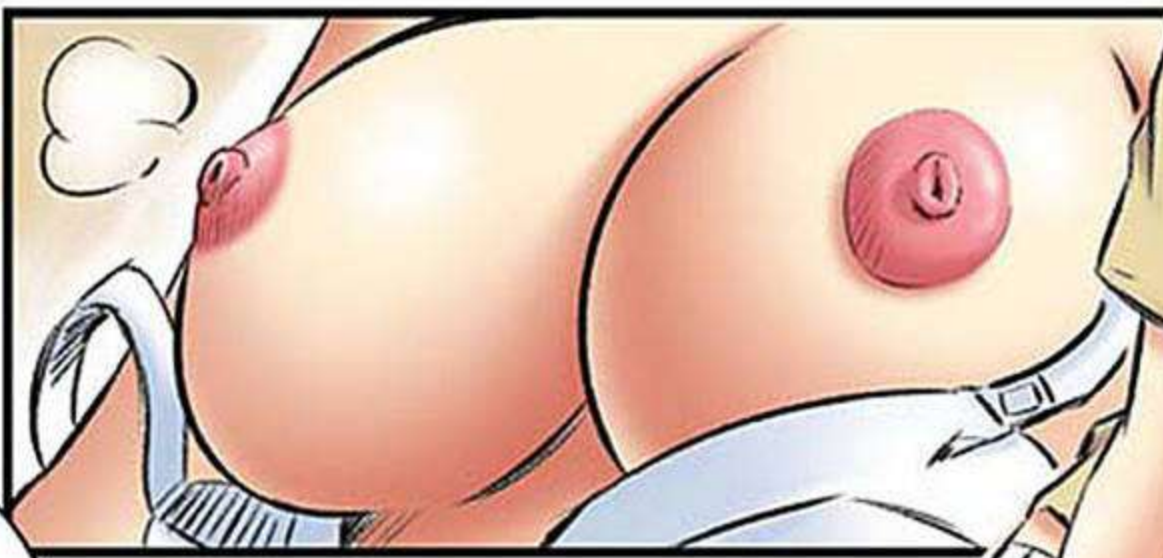
ねえー
お願
いだ
から
叔父
さん

あ・うん
まず、服を
脱が
にや
なら
んぞ





リラックス
するためね？

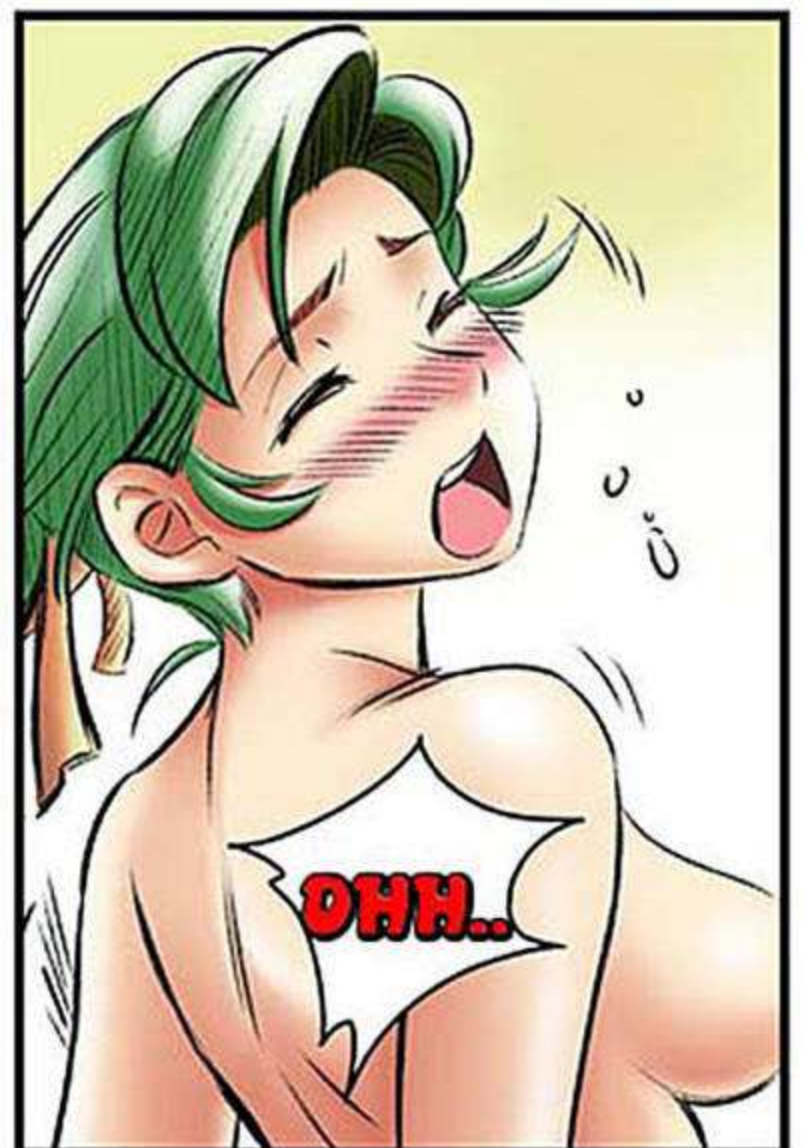
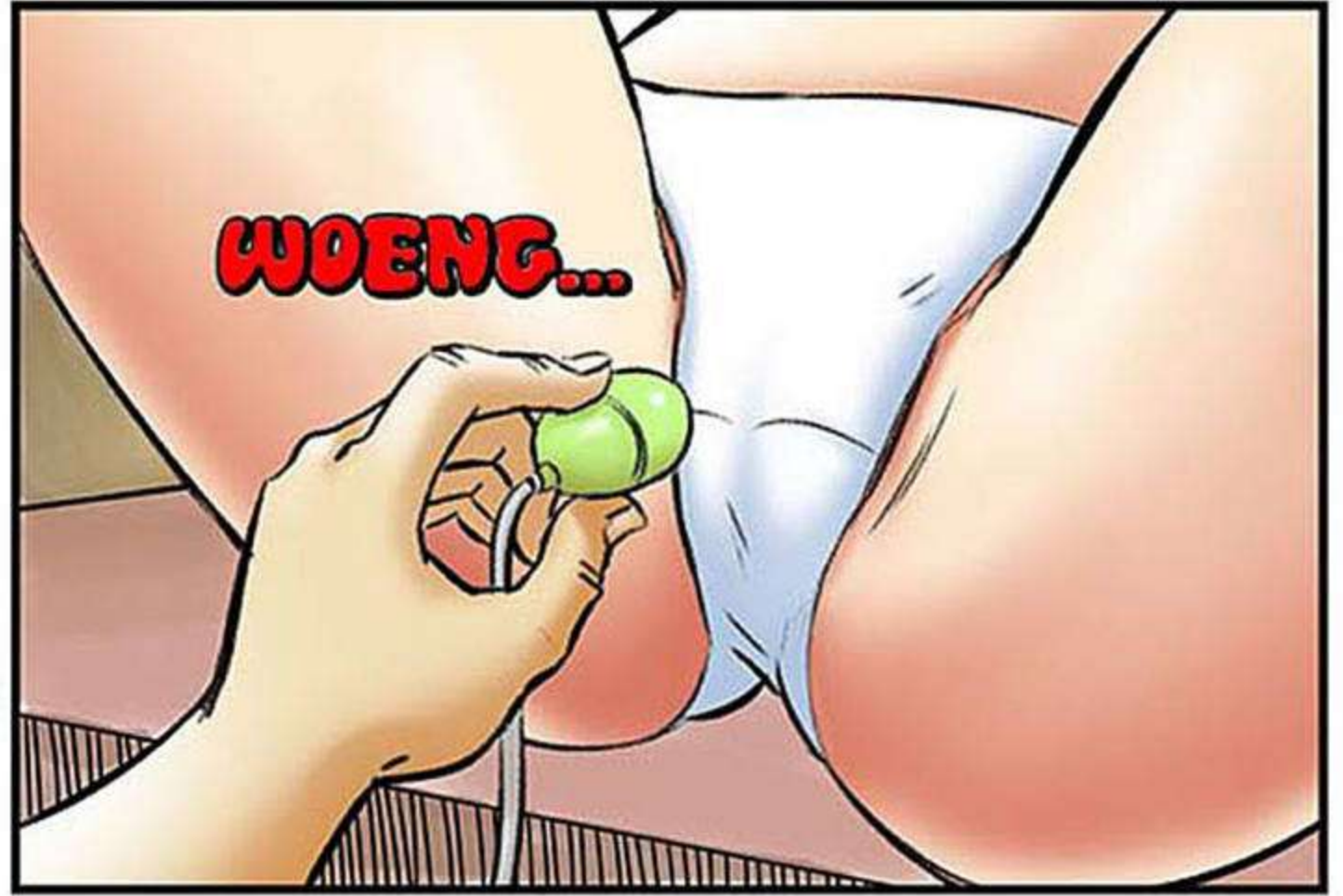


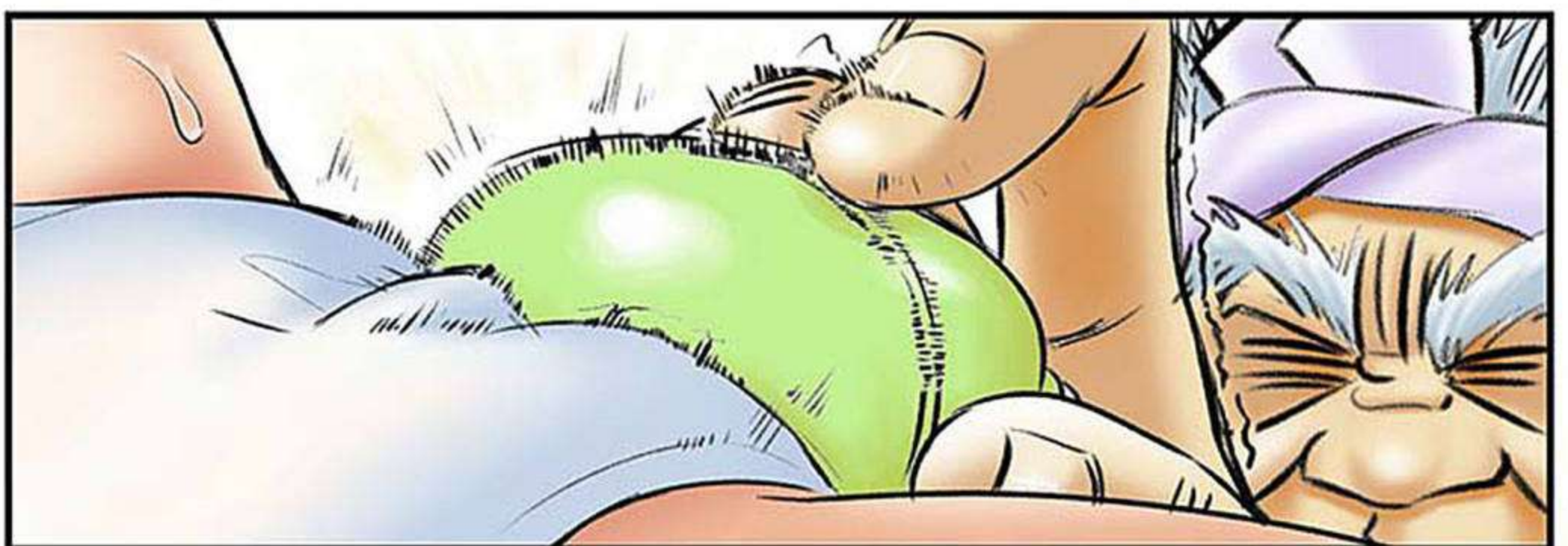
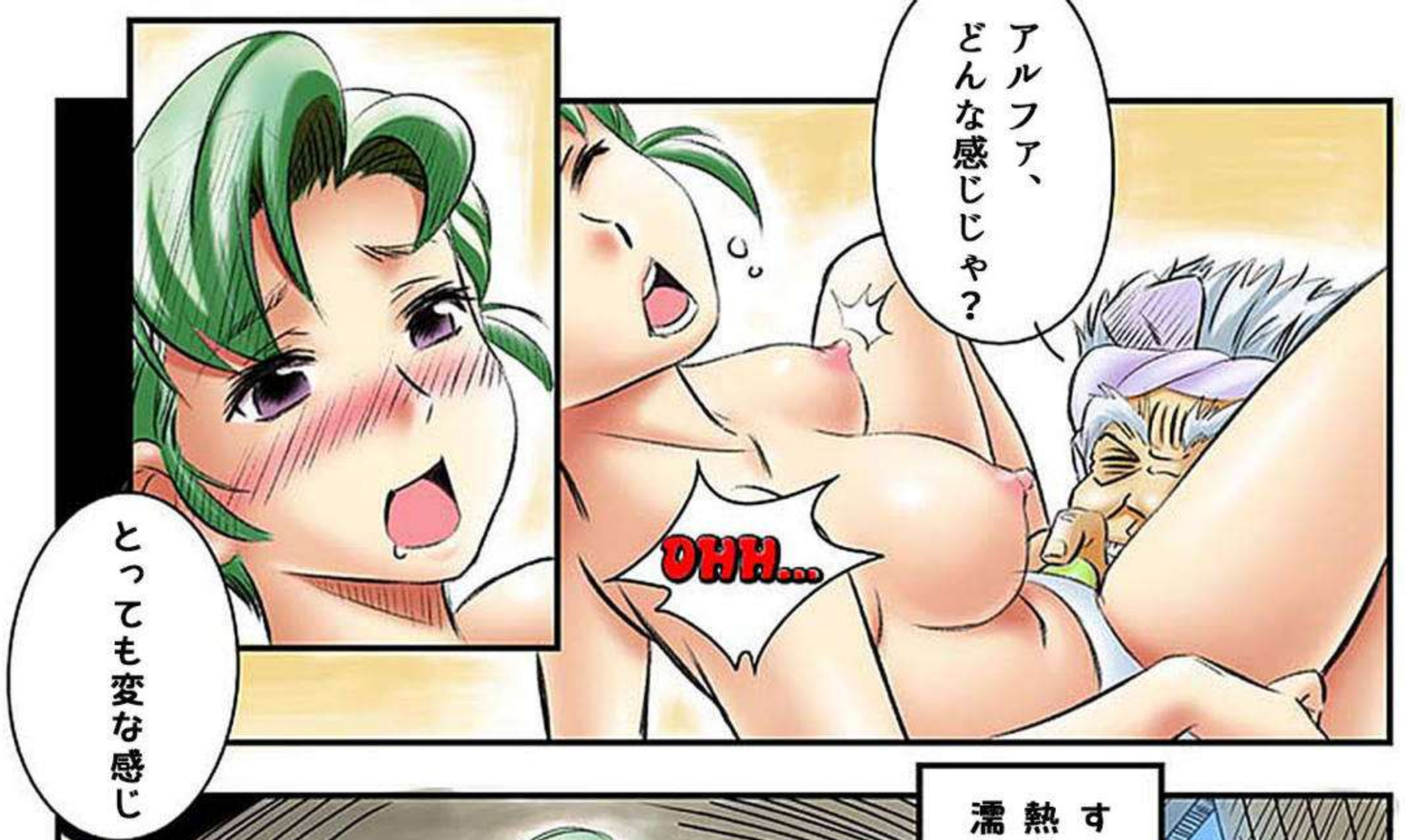
じゃあ、
テーブルの上に
座って

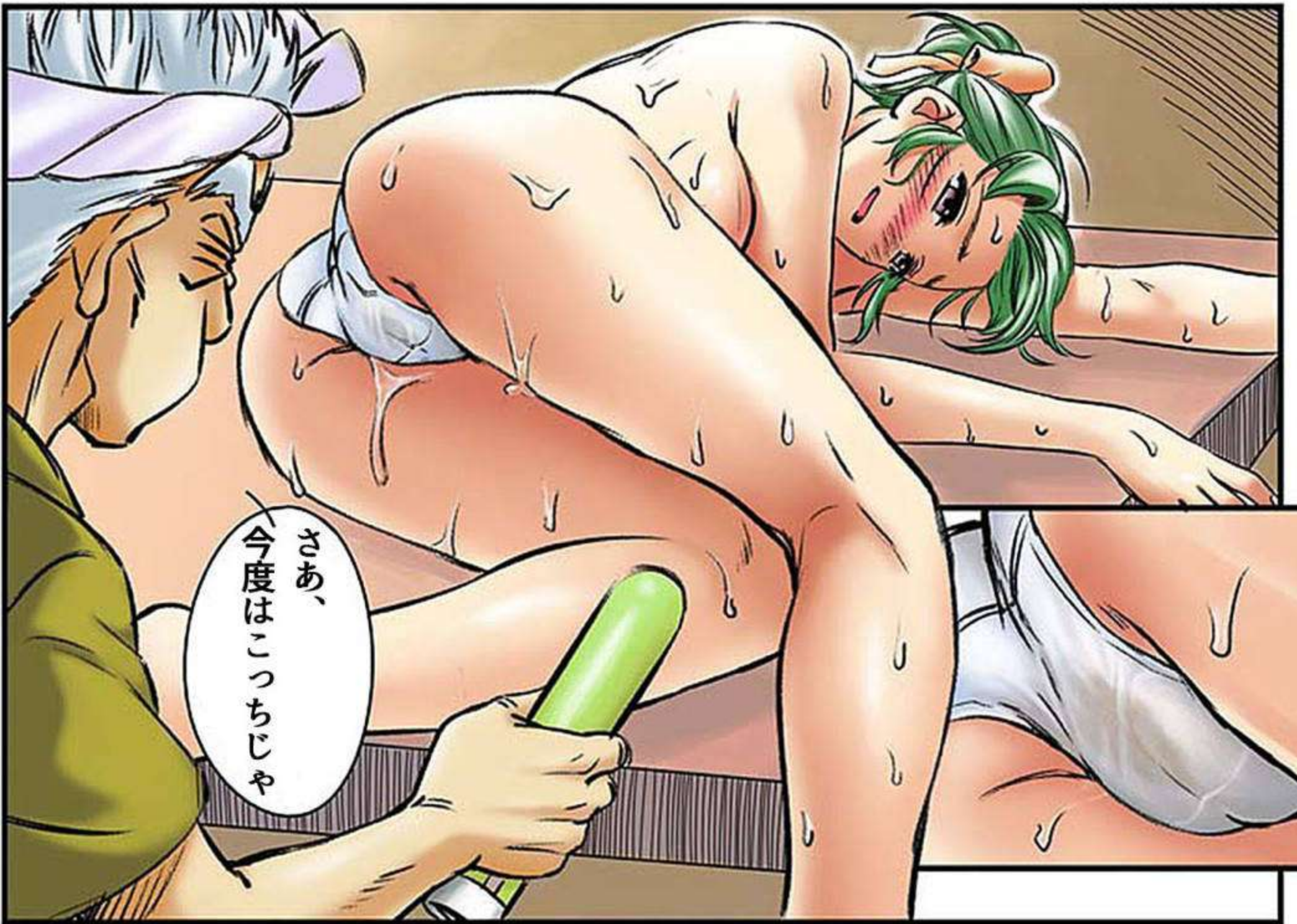


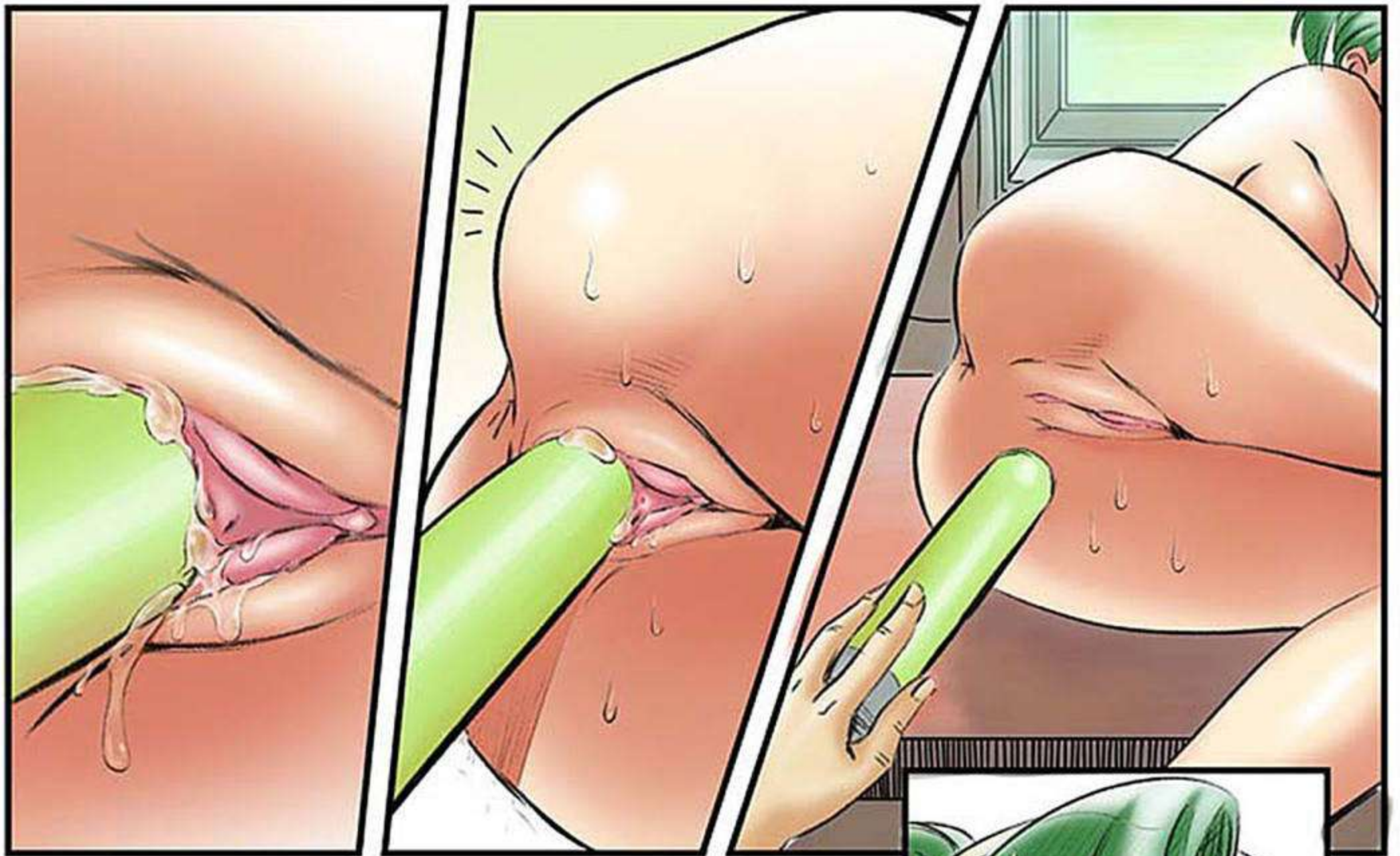
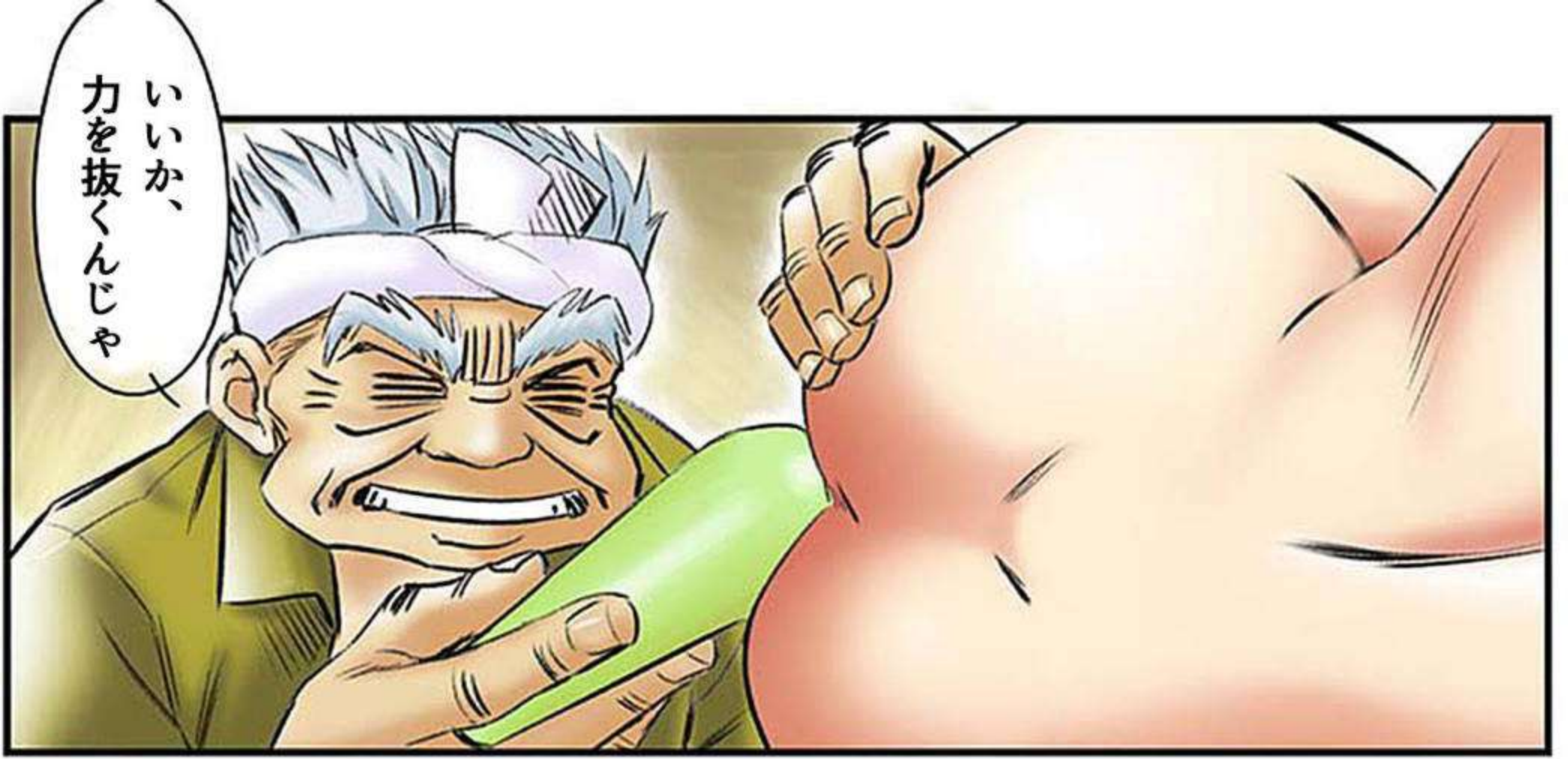
よし、
それじゃ
やってみるぞ















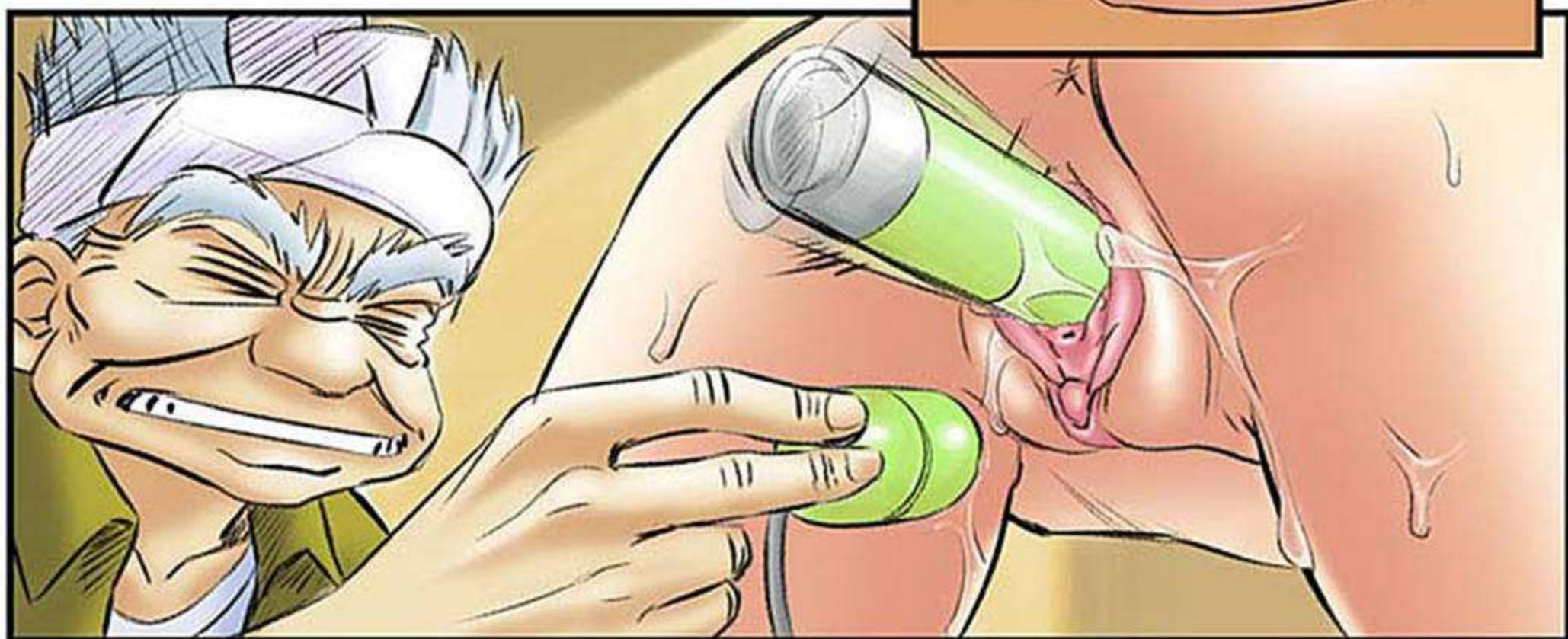
アルファ、
こっちはどうじゃ？

とっても
いいわ！

AHH



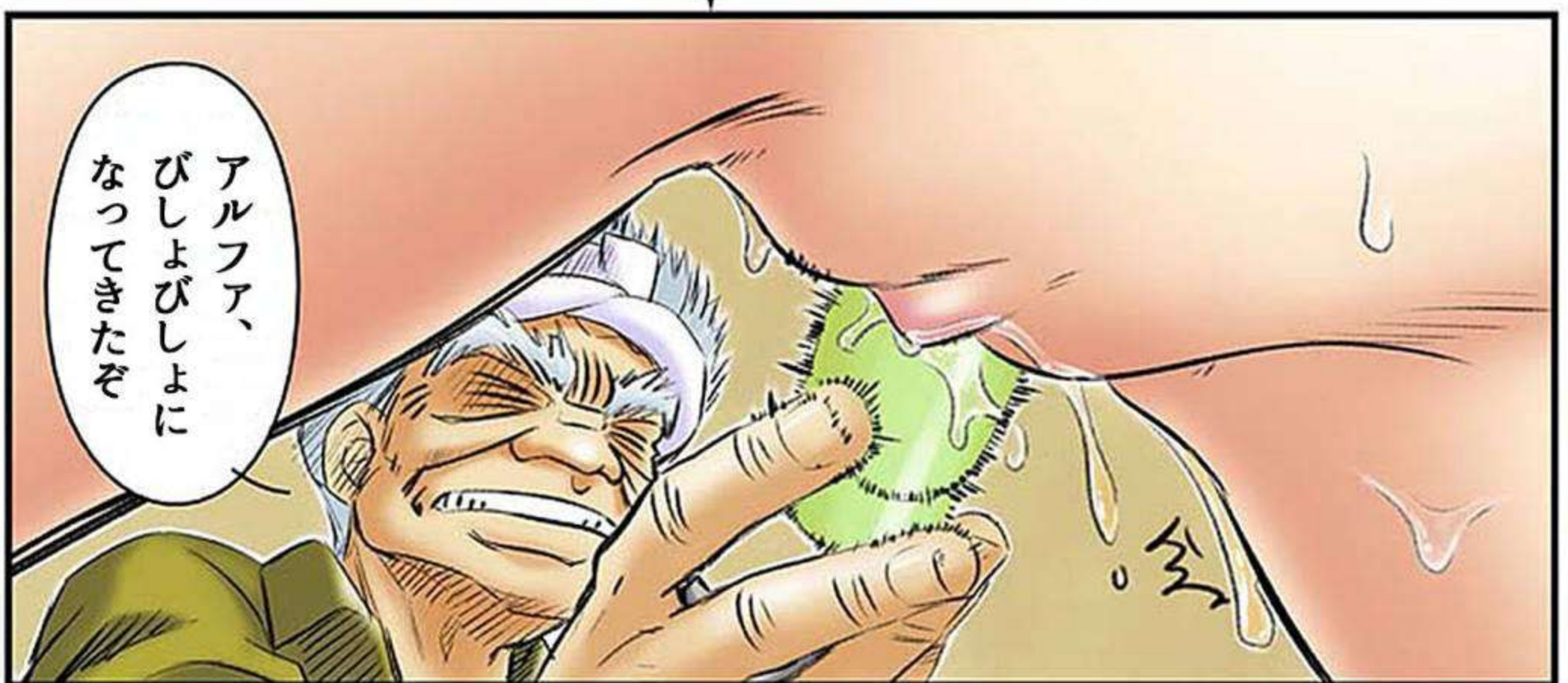
とっても変な感じだけど
すごく気持ちいい！！

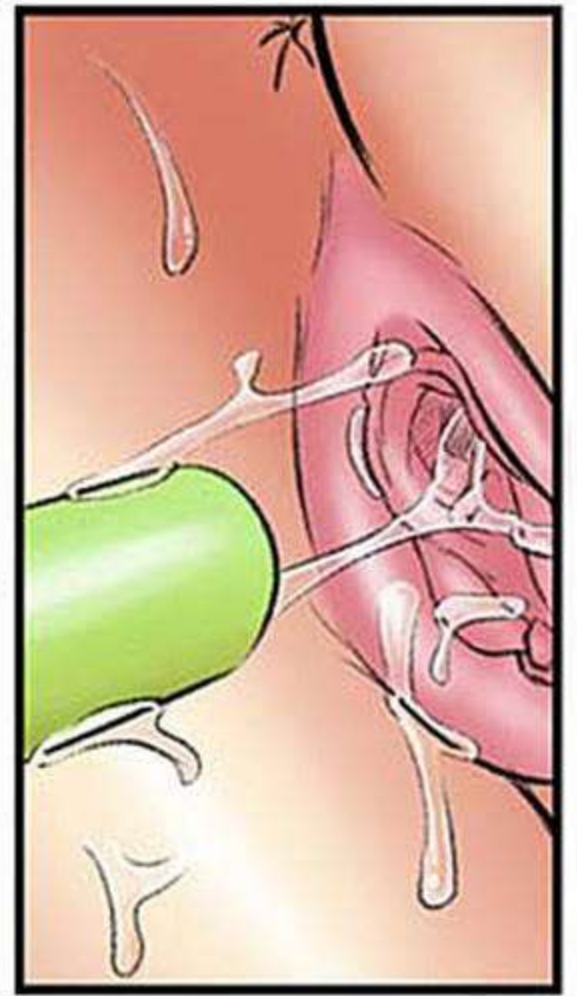


AHH



WDENG





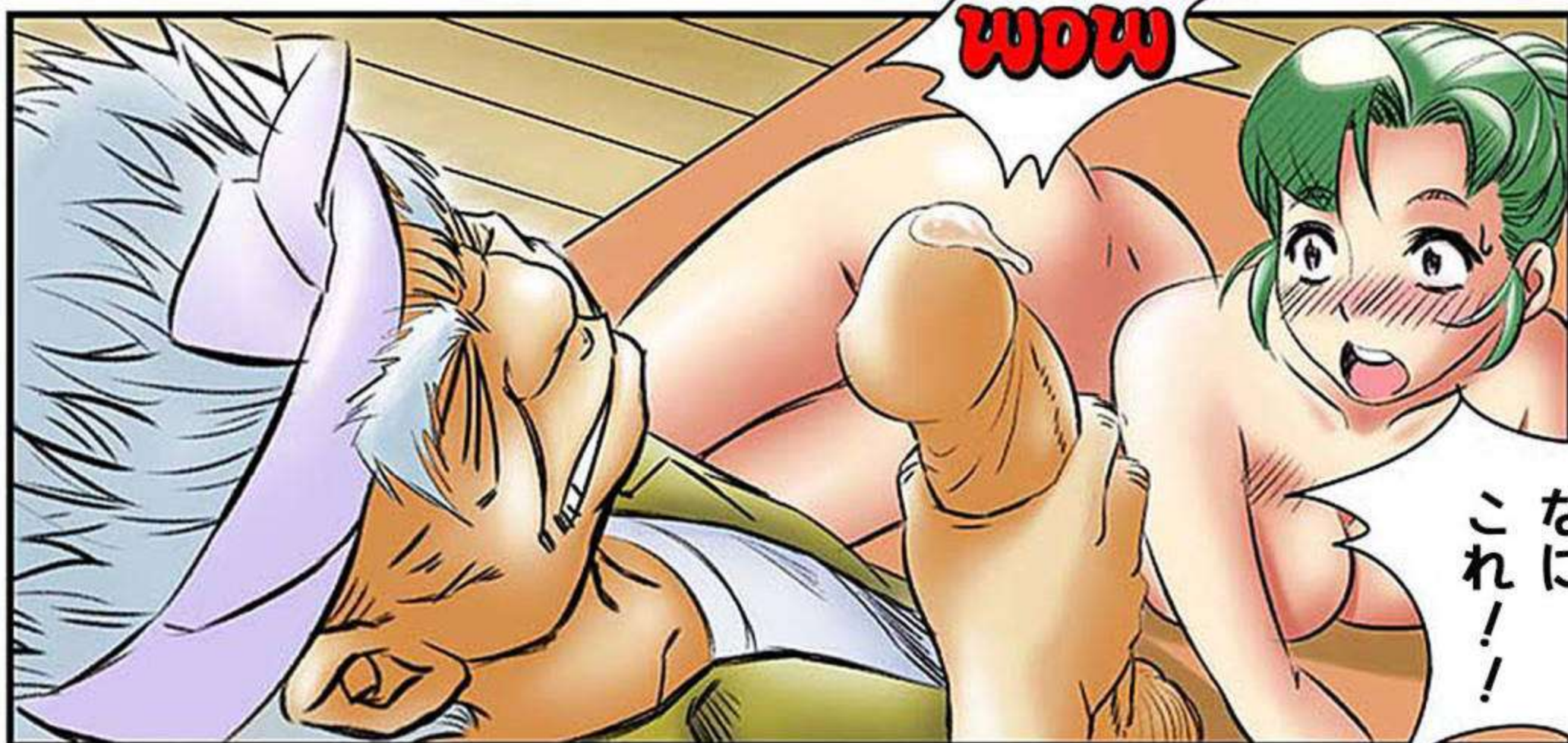
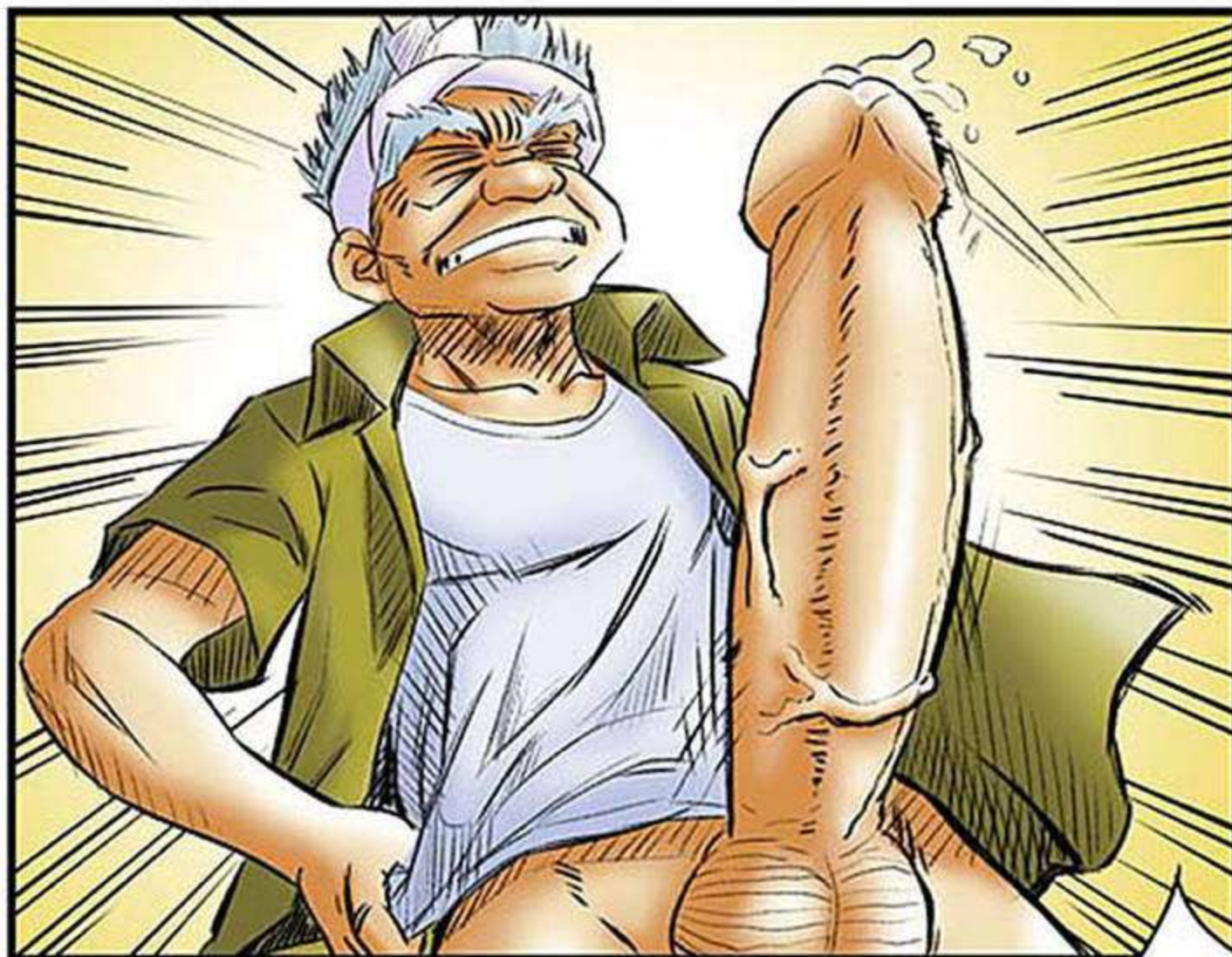
なぜ止めちゃうの
続けてよ、
叔父さん。

これは、
ただのおモチヤじゃ
アルファ



オモチヤ？
どういふこと...

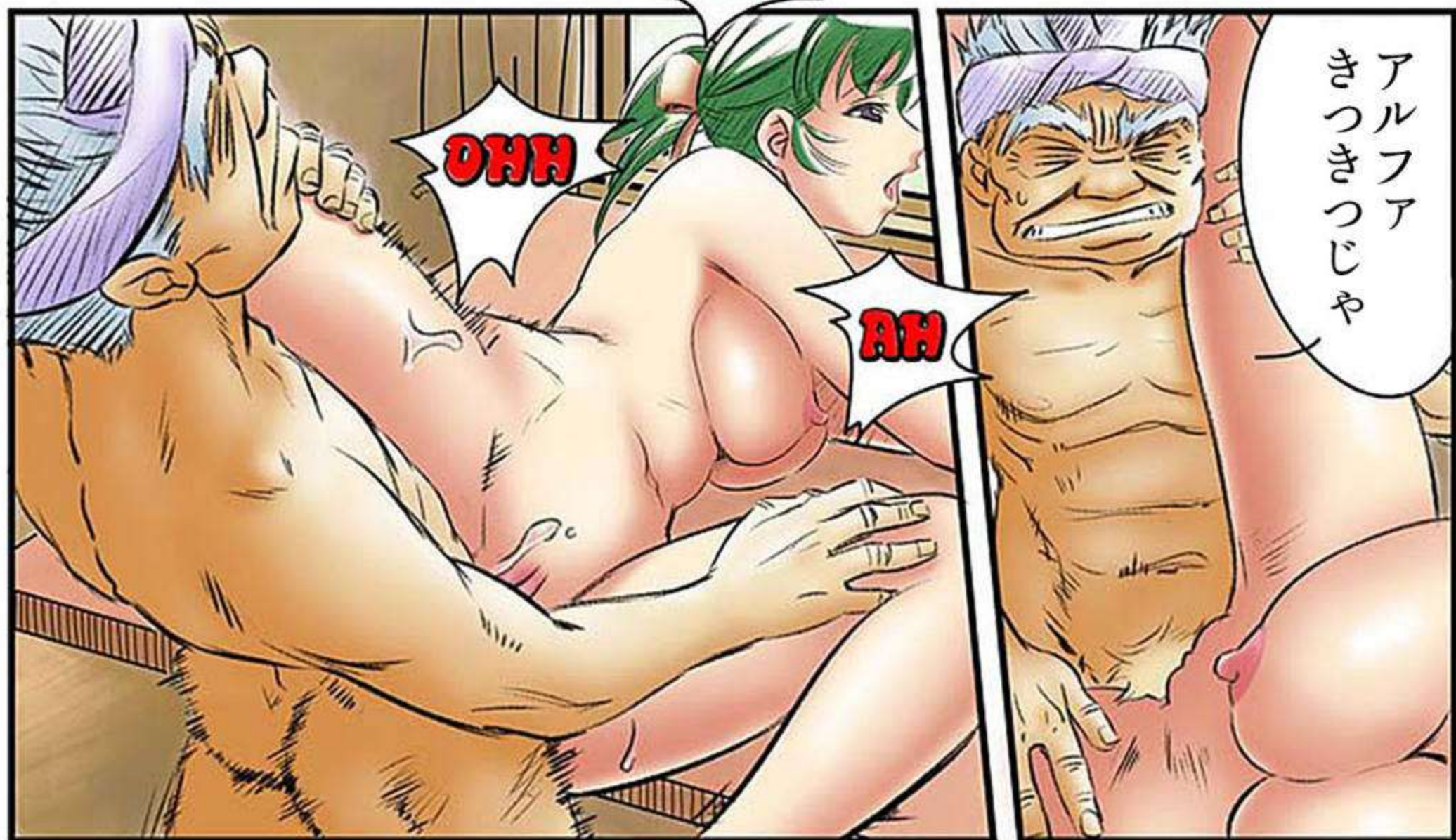
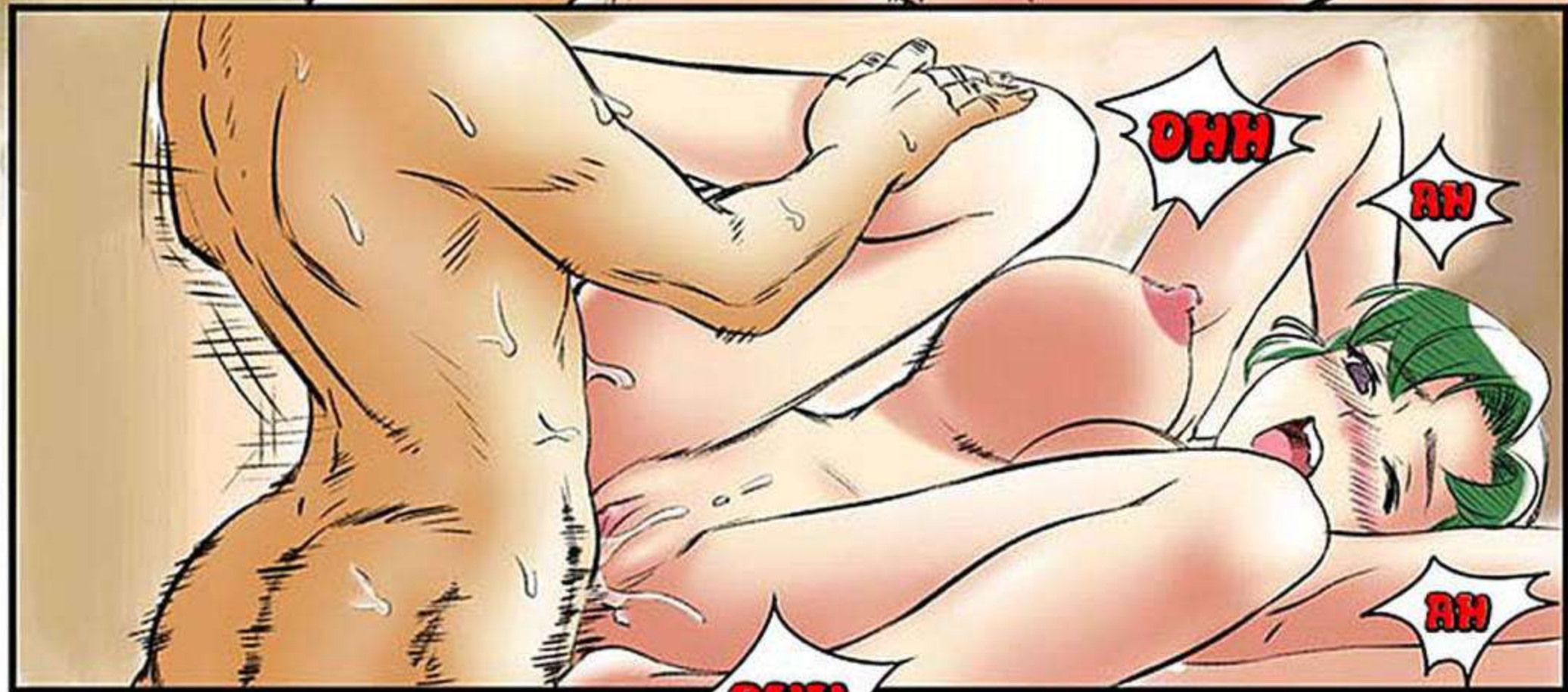
おまえに本物を
見せる時じゃ



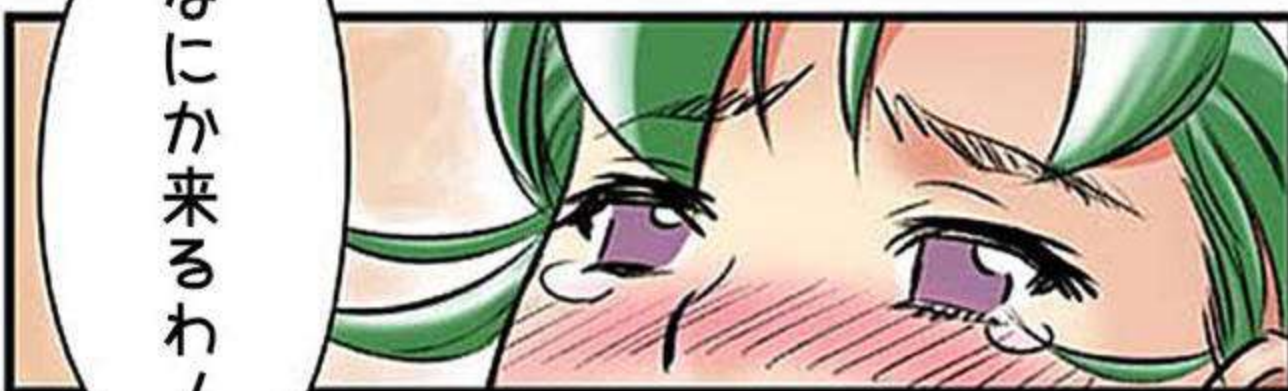
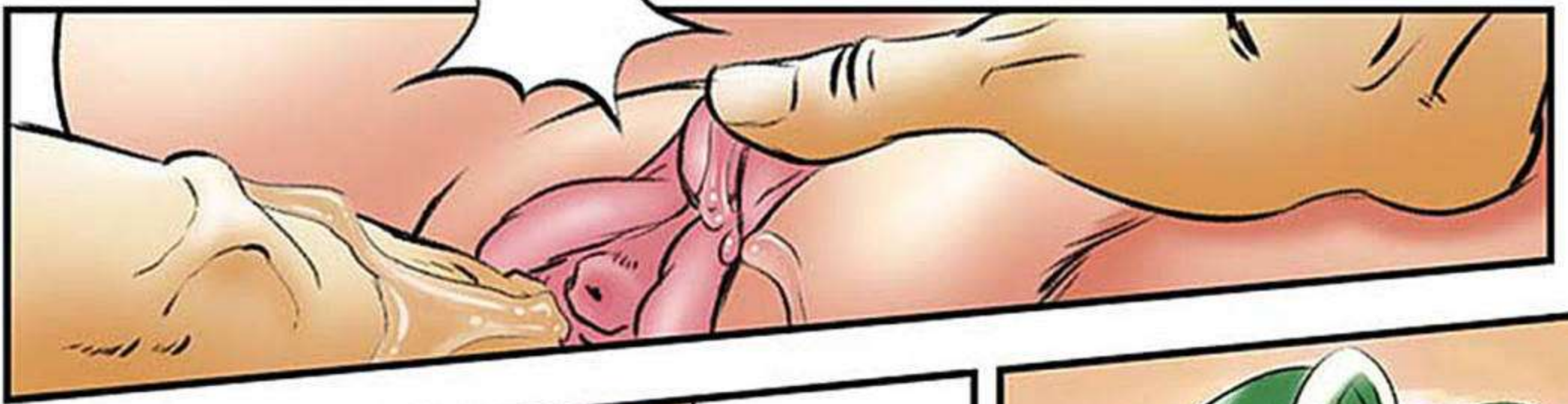
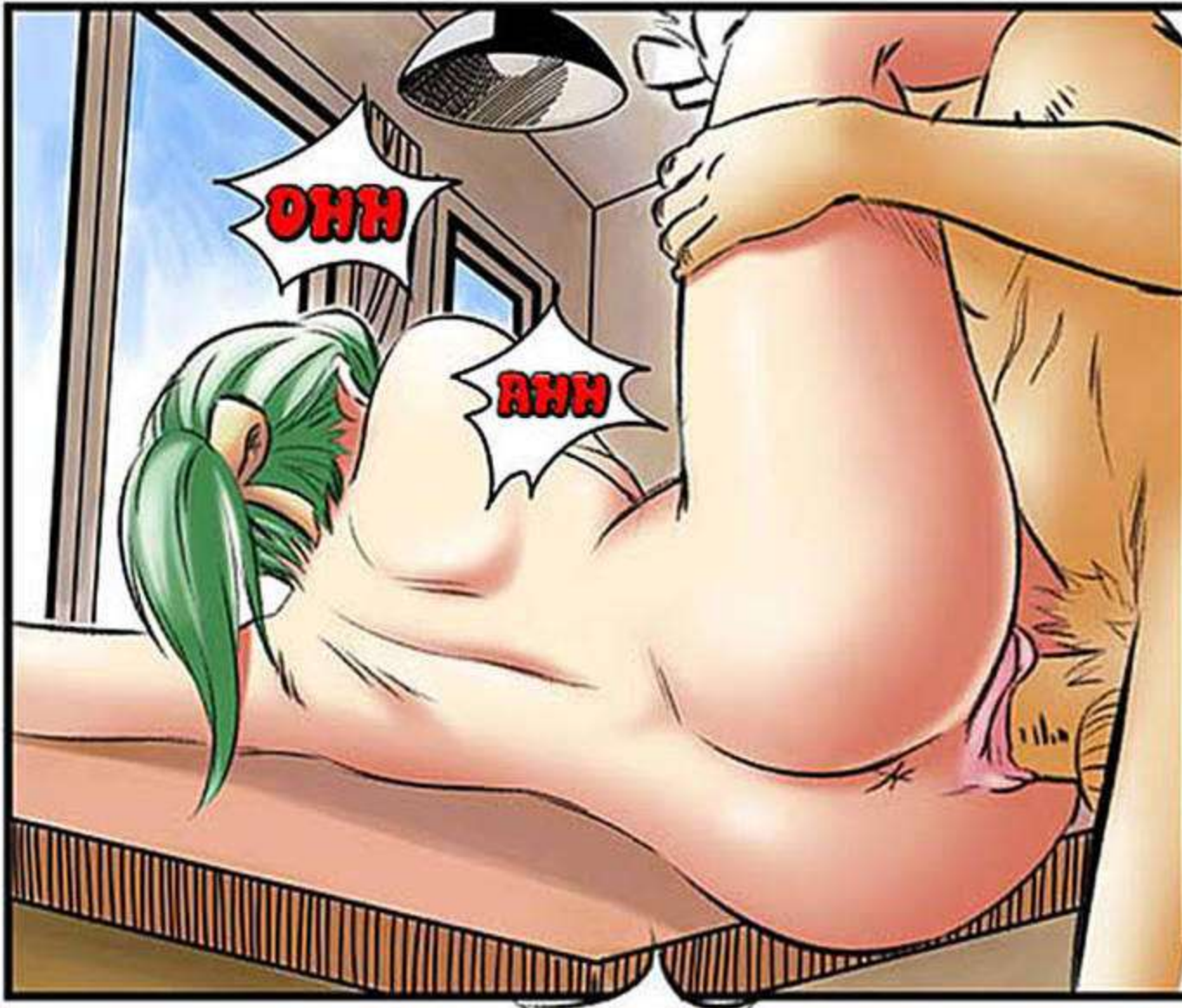


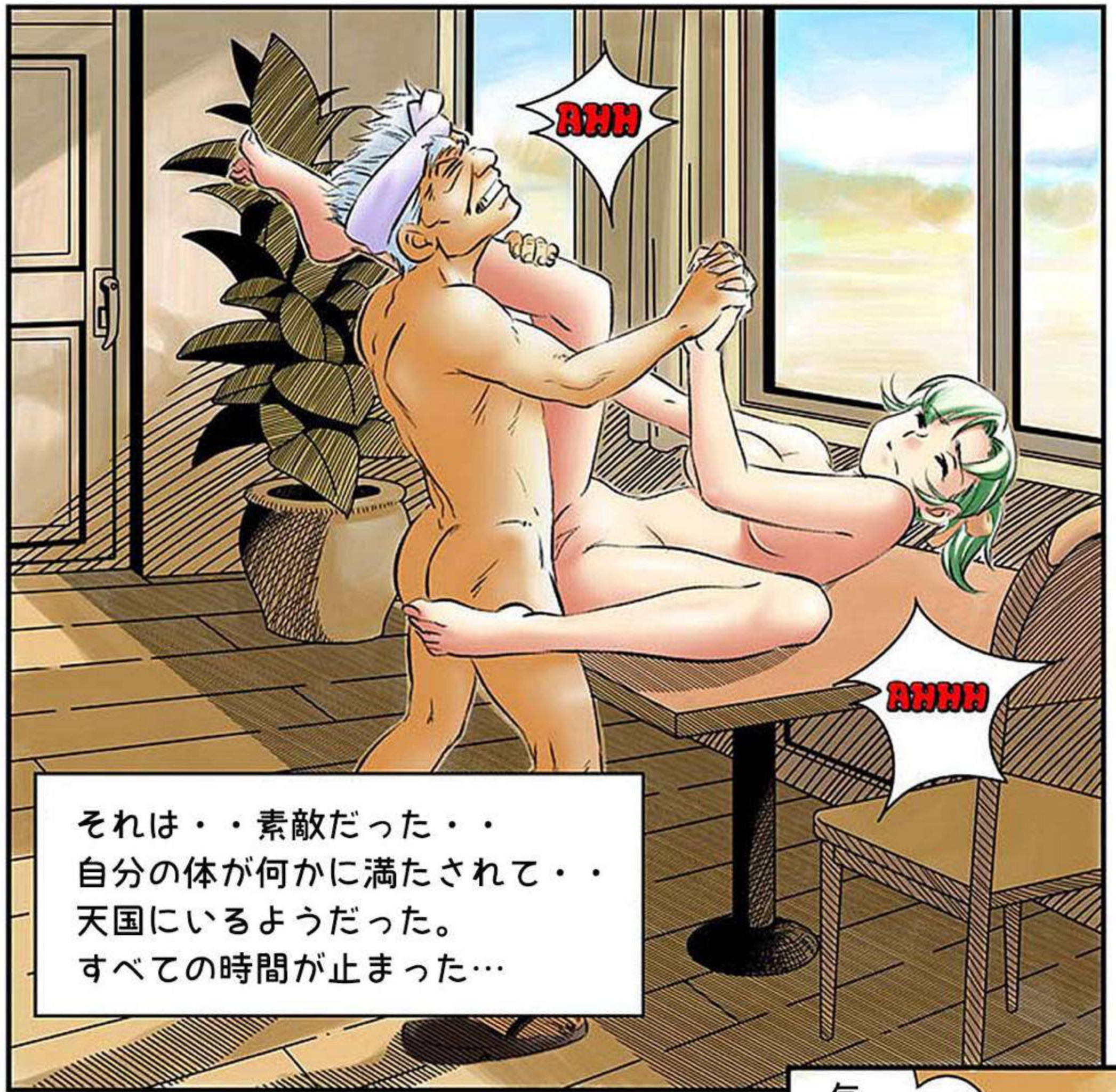
怖かったけど、
やってみたかった…





あ、イク...

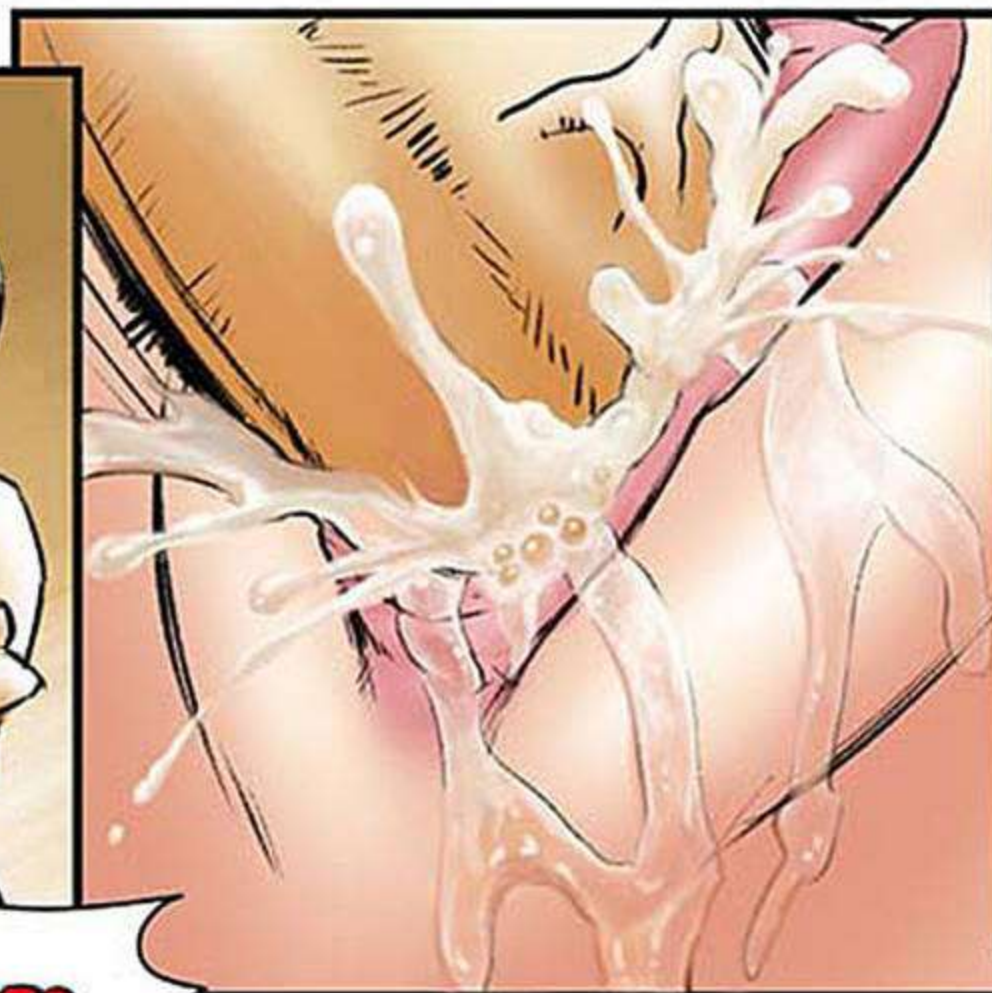




それは・・・素敵だった・・・
自分の体が何かに満たされて・・・
天国にいるようだった。
すべての時間が止まった...



OH...!



気持ちイイ!

アア



それが私の
初体験だった…

ありがとう！
叔父さん



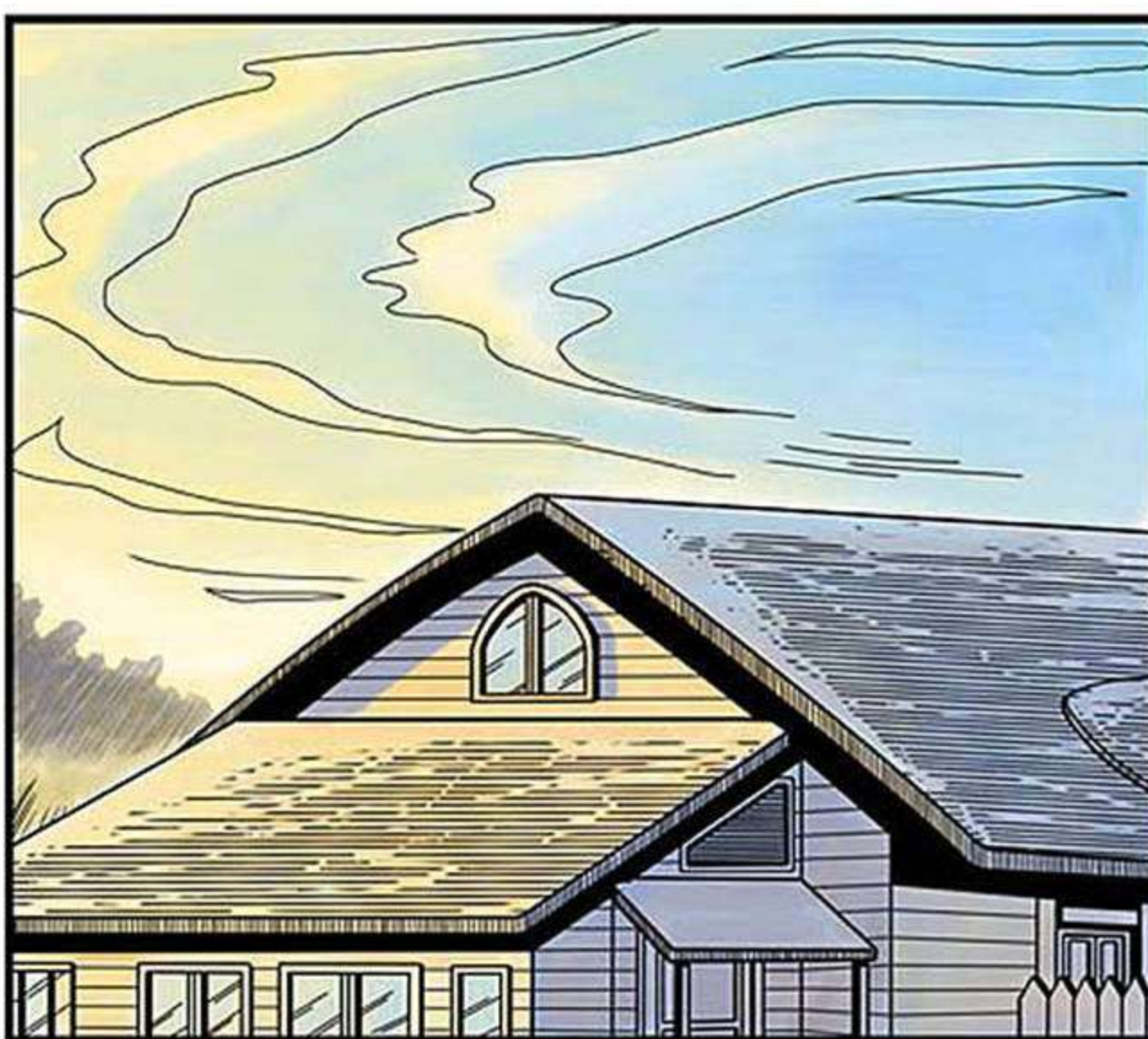
それは本当に
夢のようだった、
けど、とっても良かった...



アルファ、
それが何に使うものか、
これでわかったらう？



うん、
ありがとう
叔父さん。



END.



YOKOHAMA

by ANDES-STUDIO